



小学校球技大会

全力を尽くしました!

9月28日(水)から30日(金)までのキッズデイズ期間中、小学校球技大会が行われました。常磐小学校からは、バレー部、ソフト部、サッカー部が、優勝目指して試合に臨みました。私はバレーボール会場の担当だったので、バレー部の子たちの試合を見ました。1セット目は、試合開始から元気と笑顔いっぱい、サーブを決めたりボールをつないでスパイクを決めたりと躍動するプレーが随所に見られ、終始試合をリードして得点を重ね勝つことができました。2セット目はスタートメンバーを変えて試合に臨みました。最初は相手に得点を許し引き離されましたが、徐々にボールがつながりプレーものびのびできるようになって、試合の中盤で追いつくことができました。そこからは追いついた勢いで逆転し、競り合いながらも最後は引き離して勝つことができました。勝った瞬間の常磐小バレー部の子たちは満面の笑みで歓喜に沸き、勝利の喜びを味わうことができました。プレーした子も応援した子も、どの子も満足した様子でした。



昼からはソフト部の試合を見に行きました。ソフト部の子たちもバレー部同様、とても気合が入っているのを感じました。相手チームは初戦を勝ちあがってきて2試合目であったのに対し、常磐小はシードだったので初戦に臨むことになりました。ソフト部もよく声が出てみんなで励まし合って戦う姿が見られました。先制点をとって一気に相手を圧倒したかったところですが、相手の粘りに逆転され、残念ながら敗戦となりました。それでも最後まで胸を張って全力を尽くしたソフト部の子たちは大変立派でした。



サッカー部の試合はソフト部と重なっていたため、残念ながら見ることはできませんでした。ただ、以前公式戦で見たサッカー部の元気溘溘のプレーは、今でも心に残っています。常磐小の運動部の皆さん、チームのために、支えてくれた人たちのために、自分のために、精いっぱい戦ってくれて本当にありがたう。6年生のこれまで一生懸命に練習に励んできた姿や力いっぱい試合に臨んだ姿は、必ず後輩たちに良き伝統として受け継がれていきます。保護者の皆様も、子供たちを日々支えてくださり、本当にありがたうございました。



大会は優勝しない限り、必ずどこかで敗戦します。そこで何を感じ、何を学び、次にどう生かすかが大切です。勝つ喜び、負ける悔しさ、どちらも自らの成長の糧になります。